

研修医通信

Vol.102 令和2年8月

市立四日市病院 研修医2年目 笠井洋佑

大学在学中も県内の様々なところで実習をさせていただきましたが、研修医になってからは初の他院での研修でした。初の他院での研修ということもあり、緊張しておりました。しかし、紀南病院は職員同士の距離が近く、挨拶をすればほぼ必ず返事が返ってくるという大変良い雰囲気の中で研修ができました。また、先生方は研修だけではなくジョギングに連れて行っていただいたり、様々な話をしていただきました。快適に1ヶ月の研修を行うことができました。本当にありがとうございました。研修では様々な領域の疾患を経験させていただくことができました。普段研修をしている病院は各科がそろっており、ローテートしている科の疾患ばかりを見ることがになりますが、今回の研修では様々な領域の疾患について考える必要があり難しかったです。しかしながら、様々な疾患を一人の患者様が抱えていることは多く、専門分野の知識を学びつつ、今後も様々な疾患について知識を深める必要があることを痛感しました。また、高齢者の方で非常に元気な方が多い印象を受け、驚きました。研修中に開催された勉強会でも言及されておりましたが、年齢だけではなく、一人一人の背景やADLなどを総合的に考え、治療方針を考える必要があると感じました。どの病院で働いていても考える必要のある事ですが、改めてその必要性を認識させていただきました。この1ヶ月で学んだことを今後医師をしていくうえでしっかり活かせるよう、頑張りたいと思います。



鈴鹿回生病院 研修医2年目 影山輝

熊野市には、学生の頃に一度旅行で訪れたきりで、今回数年ぶりに訪れました。観光とは違い、その場所の病院で1ヶ月研修をさせてもらい、いろいろなことを体験させていただきました。往診や診療所に行かせていただくことは、初めての体験の一つで、本当にここに住んでいる方がいるのかと思ってしまうようなところで、生活されているかたがいました。初めは、どうしてこんなところに住んでいるのかと思いましたが、家のなかの柱にはおそらく子供さんの成長の記録と見られる傷があるなど、きっとこの家、この場所に愛着があるのだろうなと思われました。今後は患者さんが家に帰るといふこと、家に帰ってからどのように生活していくのかということをもっと意識して診療をしていきたいと思いました。1ヶ月間大変お世話になりました。ありがとうございました。



済生会松阪総合病院 研修医2年目 近藤志織

紀南病院から眺める海の青さに感動し、病院スタッフや地域住民の方々の優しさに触れた1ヶ月でした。短い間でしたが、未熟な私を育ててくださり有難うございました。

先生方は内科全般を診る必要があり大変ですが、各専門分野に精通した先生が集まっており、相談しやすい雰囲気もあって頼もしい環境だと思いました。

今回初めての訪問診療を経験しました。地域住民の方々の、自分たちの力で生きていこうとする強さには計り知れないものがあります。医療は、病気と付き合いながら人生を営む方々への、些細な、けれども欠かすことのできないサポートの1つだと感じました。患者さんと信頼関係を築き、何を求められていて、自分たちには何ができるのか考えられる医療者になりたいと思います。

